

「令和2年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第4回）」
議事概要

I 日 時

令和3年3月11日（木）

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎寺林 努（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

矢野 奈保子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

※ ◎は委員長

IV 議 題

（1）審議事項案件

① 令和3年4月から6月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について

② 令和2年10月から12月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件について

③ 随意契約の取り扱いについて

（2）その他

V 議事内容

（1）① 令和3年4月から6月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について

② 令和2年10月から12月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件について

③ 随意契約の取り扱いについて

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な意見及び当機構の回答	
意見	回答
<ul style="list-style-type: none">再委託のリスクについて、安全性のリスクコントロールを行うこと意図的に意思決定を遅らせることで随意契約とさせるようなことがないように徹底することオンラインでの開催も含めて、入札説明会のあり方について検討すること予定価格の設定について、設定プロセスの検証を継続すること	<ul style="list-style-type: none">薬機法に定める調査基準を遵守して対応できる業者を選定し、再委託があった場合には、法律に基づいた再委託先であることを確認する。意図的に意思決定を遅らせて随意契約にしてしまうという指摘は重要であり、透明性を確保するための体制作りをしていく。コロナ対策のため説明会は開催していないが、資料の提供や仕様書等への内容について業者からの質問を受け付けている。 希望する業者とは、質問者からの承諾を得た上で、質問と回答を共有している。予定価格は見積もりに基づいて算出しているが、落札価格と予定価格とに大きな差が生じることが頻繁にないように、予定価格の算出法について検討していく。

(2) その他

令和3年4月～6月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上